

2015年 天溪「花のカナディアンロッキー9日間」

第2部 スコーキ

カナディアンロッキーは6月末から夏が半月早く訪れた様な暑い日(猛暑)が続いたとか。そんなお天気で高山植物は白、赤、黄、青など色とりどりに咲き乱れ、行く先々で私たちを迎えてくれました。中でもインディアンペイントブラシ、アーニカ、グローブフラワー、バターカップなどに交じり時期的に些か早いヤナギランまでもが。普段この時期に見かけるアネモネやチョウノスケ草は既に綿毛状態でしたが、いろんな植物が織りなすお今年の花畑は綺麗さ満点でした。



(リダウト山 7/11日)

○スコーキ1日目

今年の話は何とんでもクリズリーのお出迎え。ボルダーパス手前で先行く登山者が急にバック、何かと聞けば前に熊。ここは前から熊の糞が散見され、獣道とは思っていましたが実際に見るのは初めての事。悠然と歩いてゆく姿はいかにも森の熊さんで、草原の中に消えて行きました。所で私たちは余りの天気 to 何時もは帰りに使うパッカーズパスを越え、スコーキレイクに下り、スコーキロッジを目指しました。特に暑い夏に多く飛ぶ黒い物体、それは現地でホースフライ、日本で牛アブ。この地の奴は困った事に止まるとすぐ刺す悪いやつです。



(スコーキバレー 7/11日)



○スコーキ 2日目

良い天気が続いていたのでレイクルイーズが望めるマリーンリッジを考えていましたが、この日に限って今にも雨が降りそうな曇天。仕方なくマリーンレイクまでハイキングし、帰りにキャンプサイトを見学しました。そこは人と熊が共存できるように色々工夫されていました。食物等をつるすポール、テントから離れた調理場、食卓、トイレ等々。実際、熊が登山者の食物を食べてしまうとさあ大変。学習効果で次は人が狙われても仕方ありません。



(スコーキロッジ 7/13日)



○スコーキ 3日目

昨日の曇天がうその様に朝から快晴に(午後は雷雨)。カナディアンロッキーの美しさは「山と湖の組合せ」などと考えながらデセプション・パス経由を止め、来た道に戻るパッカーズパス越えに。気のせいか行きと帰りは景色が違って見え新鮮でした。



(スコークバレー 7/13 日)



次の天溪ツアーは所を再びアルプスに戻し7月16日発「夏のアルプス・オートルート11日間」をお届けします。

記 天溪 赤沼